

園芸カレンダー

自分でやってみよう!

セキチュー
How to D.I.Y

11



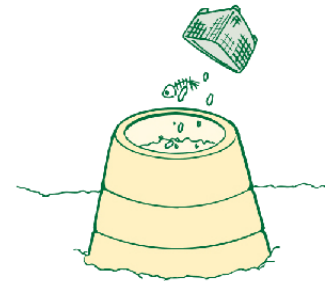
植物の1サイクルは1年。その間、いろいろ手を入れて、心をこめてあげると、いい植物が育ちます。ここでは基本的な作業と、花や実のなる時期をカレンダーにしてみました。園芸作業——特にガーデニングの基本としてお役に立ててください。一年中花盛りの庭も夢ではありません。

Do it Yourself & Save

ここがポイント!

●堆肥を自分でつくる

落ち葉や雑草、野菜くず等の有機物に、小鳥や家畜の糞を加え、さらに専用の発酵剤を加えてコンポストの中に入れます。上記の材料を交互に積んでいき、水も少し加えるようにします。月に一度ぐらいはスコップやフォークで切り返してよく混ぜ合わせます。約1~2ヵ月で使える堆肥ができ上がります。窒素肥料を混ぜこむと早く完成します。しかし雑草の根や病葉は入れないようにしましょう。



DO IT YOURSELF ADVISER
DIY
日本DIY協会

日本DIY協会認定DIYアドバイザーが、ご質問にお答えいたします。お気軽にお声をおかけ下さい。

サービスのご案内

●下記クレジットカードがご利用できます

配送 切り売り商品 修理

返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

はギフト券もご利用いただけます



ホームセンター
セキチュー

制作発行/株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します



	10月	11月	12月
草花	<ul style="list-style-type: none"> ●大輪菊の輪台つけ。 ●秋まき草花の移植。 パンジー・ヒナギク・キンセンカ・ヤグルマソウ等。 ●スイトピーの種まき。 ●ダリアはさし芽で増やす。 ●グラジオラスの球根を掘り上げる。 ●ヒアシンスの水栽培を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種をまいた畑に霜除け。 ●堆肥づくりを始める。 ●ハボタンの定植。 ●秋咲き草花の種取りと保存。 ●鉢花(パンジー・プリムラ・ヒナギク等)の小さな花はひとつ大きめの鉢に移植。 	<ul style="list-style-type: none"> ●房咲き水仙の霜除け。 ●発芽した球根草花は、下旬まで寒さに充分当てる。(水やり、肥料は必要なし) ●越年性草花の苗の防寒。
庭木・花木・果樹	<ul style="list-style-type: none"> ●松・桜・梅・柿・栗等の幹の中間に藁やむしろ、布きれ等を巻いて害虫予防。(春先にはずしてそのまま焼きます) ●栗の苗木を植える。 ●キウイフルーツを植える。 (必ず雄の木と雌の木を植えないと実がならない) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビワの摘房と摘花。 ●移植予定の庭木の根回し。(半年から1年ぐらい前にする) 	<ul style="list-style-type: none"> ●大株のバラを植える。 ●熱帯性庭木の防寒。 ソテツ・テイゴ・フェニックス等は根元に土寄せをして北側に竹や笹を立てて寒さを防ぐ工夫を。 ●雪折れを防ぐ作業。
観葉植物・ラン	<ul style="list-style-type: none"> ●カトレアの植え替えと株分け。 ●サイシンの株分け。 ●室内に入れた鉢物の水やりを忘れないように。 	<ul style="list-style-type: none"> ●温室の手入れと補強。 ●耐寒性を考えて置き場所を変えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ●傷んだ葉や変色した葉は、切り口が目立たないように斜めに切り取る。 ●室内の植物の乾燥予防を。(ビニールや段ボールをかぶせる等)
野菜	<ul style="list-style-type: none"> ●パセリの種まき。 ●フキの植えつけ。 ●アスパラガスの株分け。 ●イモ類の貯蔵。 ●食用ユリの球根の植えつけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●根深ネギの土寄せ。 ●定植したイチゴ苗に追肥。 ●白菜・レタスの結球期。 巻き方が弱い場合は速効性の尿素肥料をひと株につきさかさき2分の1を水に溶かして散布。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カリフラワー・芽キャベツの収穫。 ●アスパラガスの土寄せ。

四季を楽しむ園芸カレンダー



	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
草花	<ul style="list-style-type: none"> ●冬の花壇にも水やり(暖かい日の午前中にたっぷり) ●あいている花壇を耕す。 ●ダリアのつぼみ取り。 ●庭木の下草を植えつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●葉ボタンをさし芽で増やす。 ●花壇に寒肥を与える。 ●パンジー・すみれの種とり。 ●サクラソウの株分けと植えつけ。 ●根が鉢にいっぱいになっている草花類の鉢替え。 	<ul style="list-style-type: none"> ●花壇の準備 土を掘り起こし、土の中に空気を入れておく。 ●苗を植える パンジー・ヒナギク・ロベリア・ワスレナグサ・プリムラ・アリッサム等。 ●宿根草の株分けと定植 ●菊の育苗準備 	<ul style="list-style-type: none"> ●種まき ソメイヨシノが咲き終えたときが目安。 ●球根の植えつけ ●宿根草の苗の植えつけ ●春咲き花の後始末 葉はそのまま花だけ切り取り、追肥を忘れずに。 ●アマリシの鉢植え 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝顔・夜顔の種まき。 ●チューリップ・ヒヤシンス・水仙等の花の済んだ球根類の花がらを取ります。 ●ダリア・マリゴールド・サルビア等はさし木をして増やす。 ●シクラメンの夏越しの準備。 ●菊のさし芽。 ●花の終わった宿根草の切戻し。 	<ul style="list-style-type: none"> ●春咲き草花の球根の掘り上げ、秋まで乾いたもみがらやおがくず、パーミキュライト等の中に入れて保存。 ●あやめ・かきつばた等の株分け。 ●ダリアのつぼみ取り。 パンジー・ヒナギク・ヤグルマソウ・キンセンカ・ナデシコ等、花後の種を取る。 ●プリムラの種まき。 ●ハイビスカスの剪定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●葉ボタンの種まき。 ●彼岸花・夏水仙の植えつけ。 ●グラジオラスの球根の植えつけ。 ●パンジーの早まき可能。 ●ジャーマンアイリスの仮植え。 腐葉土やビートモスに浅く植える。 ●夏の摘芯と間引き、剪定。 ●夏マユウの種まき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ダリアの切り戻しと剪定。 ●ジャクヤクの株分け。 ●夏植え球根の植えつけ。 リコリス類・オキザリス・スノーフレーク・コルチカム等。 ●クレマチスの剪定。 ●コスモスの遅まき。 ●ジャスマインの整枝と植え替え。 ●ハマユウの種まき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●越年草の種まき。 ●シバザクラ・リボンガラス・ミヤコソスレ・プリムラ等の株分けと植えつけ。 ●サイネリアの種を取る。 ●菊のつぼみを上だけ残して取る。 ●シクラメンの植え替え。 ●ポインセチアの摘芯。 	
庭木・花木・果樹	<ul style="list-style-type: none"> ●柿は実った枝には次の年は実をつけないのが普通。新しく伸びた枝の先端に花芽をつけるので、枝をやたらに切らずに、花芽を残して適当な間隔で剪定する。 ●ぶどうの花芽は前年に伸びた枝の基部につく。枝を30～50cmに切り詰める。春に新しいつるを10本ぐらいに押さえて、つるが混み合わないようにすること。 ●根は刈れた枝や細い枝を切り、長く伸びた結果枝を切る。 ●生垣、果樹などに芽だし肥として鶏糞や油粕、骨粉等を堆肥と一緒に根元から少し離れた土中に浅くすきこむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●バラの剪定。 いい花が咲かない古い枝を切る。つるバラは3年以上経った古い枝を基部から切り落とし、1年目、2年目の枝を水平に誘引して、いい芽がなっている位置まで切り詰める。 ●梅の剪定。 ●みかん類の剪定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●芝生の目土入れ ●苗木の植えつけ 柿・桃・栗・イチジク・カリンなどは早めに、ミカン・ユズ・キンカン・ヤマモモ等は遅めに植えつけ。 ●落葉樹のさし木 ボケ・アジサイ・ユキヤナギ・ヤマブキ・イチジク・ブドウ・ザクロ・ユスラウメ・ヒバ・コノチカシワ・南天・流丁花・アオキ・マサキ・ツツジ・サツキ等 ●常緑花樹の剪定を軽めに。 	<ul style="list-style-type: none"> ●バラの芽かきと追肥、薬剤を散布して病虫害の予防。 ●アケビ・姫リンゴ・桃・梅等に人工受粉。 	<ul style="list-style-type: none"> ●松は新芽が伸びきったときに芽を摘み取る。 ●竹・笹類の芯抜き。 ●果樹の摘果と袋かけ。 ●サツキ・ツツジの枝切りと剪定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●バラの徒長枝(シュート)の剪定。 ●常緑生垣の刈りこみ。 ●庭木のさし木。 ●アメリカシロヒトリの第1回の退治。(秋まで発生したらまず退治する) 	<ul style="list-style-type: none"> ●サツキの刈りこみ。 ●樹木の種まき。 桜・梅・ひいらぎ・南天・桃・ユスラウメ・ヤマモモ・ビワ・ナツグミ等、外皮の果肉をよく水洗いしてからまく。乾燥させない工夫を。 ●果樹の摘果。 桃・アズナリ・柿・ぶどう等。 ●草取りは早めに、早めに。病虫害の駆除。 ●アジサイの剪定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●台風の前倒木予防。 ●芽つぎ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●南天の芽刈り。 ●ピラカンサの整枝。 ●生垣の刈りこみ。 ●竹類の株分け。 ●鉢植え花木の植え替え。 	
観葉植物・ラン	<ul style="list-style-type: none"> ●ひたすら防寒に努める。 ●乾燥しないように一定間隔で水やりを欠かさないように。 	<ul style="list-style-type: none"> ●鉢植えの乾燥を防ぐ。 ●サボテンの用土を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●洋ランは花をつけ根から切り取ります。 ●シンビジウムの株分け ●サボテンの植え替え ●ゼラニウムの摘芯 	<ul style="list-style-type: none"> ●つる性植物のつるは思いきって茎を短くする。 ●シダ類は新芽が伸びる前に茎と葉を全部刈り取ると、その後いっせいに新しい葉が揃う。 ●ジャコバサボテン等のさし木。 	<ul style="list-style-type: none"> ●竹類の植え替え。 ●レックス・ベゴニアの葉ざし。 ●室内の鉢物を外に出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●取り木やさし木を増やす時期。 タマシダ・カラテア・アナナス類は株分け、ペペロミア・サンセベリアは葉ざし、アイビー・ボトス・モンステラはさし木、ゴムドラセナ・クロトン等は取り木で。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多肉植物の置きよけ。 ●大鉢植えの観葉植物(ゴム・フェニックス・モンステラ等)の植え替え。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブライダルベールをさし木で増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●つる性植物のつるの切り戻し。 ●カラテア・マランタの株分け。 ●竹類の病虫害予防。 ●ハランの株分け。 ジャコバサボテンの水やりを減らしていく頃。 ●サボテン・多肉植物の植え替え。 	
野菜	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の天地返し。 ●輪作の計画を立てる。 ●ホウレン草・小松菜・春菊・京菜・ワケギ・タマネギ・レタス・ブロッコリー・イチゴ等に追肥。 ●タマネギは柔らかいゴム底の靴で横歩きして軽く踏みつけて霜害予防を。 	<ul style="list-style-type: none"> ●春まき野菜の準備。 ●保温設備がある場合は野菜の早まき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ジャガイモを植える。 小さめなら2つに、大きめなら4つにそれぞれタテに切り、腐敗を防ぐために切り口に草木灰を塗ります。 ●収穫の早い野菜を植える。 ホウレン草・春菊・パセリ・サラダ菜・ニラ等。 ●サラダ大根の種まき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ジャガイモの土寄せ。 ●里芋・ヤツガシラの植えつけ。 ●春まき野菜の種まき。 シソ・小松菜・パセリ・インゲン・枝豆・トウモロコシなど。 ●果菜(夏に収穫するもの)の畑の準備。 畝をつくり、土中に元肥を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナスの整枝。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナスの整枝。 ●さつまいもの苗の植えつけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●トマトのわき芽摘み。 ●きゅうりのつるの整枝。 おやつる2mぐらい、子づるは本葉2枚を残して摘み取る。 ●ピーマンの整枝。 ●じゃがいも・たまねぎの収穫。 ●さつまいもの苗の植えつけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナスの切り戻しと病虫害の予防。 ●人参・セロリの種まき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●秋野菜の種まき。 ●ネギの植えつけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホウレン草の種まき。 ●イチゴ苗の仮植え。 ●コールラビの種まき。 ●ワケギ・ラッキョウの植えつけ。 ●つけ菜類の種まき。